

# かがやき

令和6年4月16日  
NO. 1  
紀の川市立  
貴志川中学校  
校長 山田 浩史

## 令和6年度が スタートしました！

# 一人一人が輝ける学校に！

今年、桜の開花が例年に比べ少し遅れ、始業式・入学式に正門の桜が新しい年の始まりを祝福してくれていました。江戸時代の俳人 加賀千代女（かがの ちよじよ）が詠んだ

けふまでの

日はけふ捨てて 初桜



という俳句があります。「今日までの日は今日捨ててしまおう。初桜が咲いて桜の季節だ。」という意味で、桜が咲いたことを契機に、咲く前までの日々から心機一転しようという決意の俳句だそうです。

令和6年度が

スタートしました。新しい年度の始まりは、新たな出会いとの始まりです。新たな人との出会いだけではなく、新しい出来事や学びに出会うこ

とでしよう。

金曜日にNHK総合テレビで放送されている「ちよちゃんに叱られる！」という番組を見たことがありませんか。以前この番組で、「大人になると一年があっという間に過ぎるのはなぜ？」という問いに対して、その答えは、「人生のときめきがなくなるから」ということでした。子供の頃は、学校行事や新しい体験など一年の中で感じるときめきが多く、その一つ一つをしっかりと認識するので、過ぎた時間を長く感じるのだそうです。一方大人になると毎日同じ作業が多くなり、特に印象に残ることが少なくなるにつれ、ときめきを感じるものが減り、時間を短く感じるそうです。

大人になる前に、様々なこととときめきを感じ、豊かな心と豊富な知識を育むようにしましょう。そのため、常に意識をして周囲に気を配ることや主体的に学校生活に参加するようにしましょう。

4月9日（火）に行われた入学式で、145名の一年生が入学してきました。三年生は、貴志川中学校の顔として、二年生は、一年生のよい見本となるよう心がけてください。一年生は、中学校生活に慣れ、二・三年生とともに貴志川中学校を盛り上げていきましょう。

## 「ときめき」と

## 「かがやき」を求めて！

今年度は、「一人一人が輝ける学校」になるよう皆さんと先生方が一緒になってこの貴志川中学校をより良い学校にしていきたいと考えています。そのためにも、生徒の皆さんが学校生活について常に意識し、貴志川中学校の一人として、日々の学校生活について考えてほしいと思います。

それでは、令和6年度が、皆さんにとって、ときめきの多い、輝く一年になることを祈っています。一年間よろしくお祈りします。

## 今、貴志川中学校は

貴志川中学校が、未来指向型の学校を目指し、学校教育目標を変更して今年で三年目を迎えます。これまで、授業力向上や学力向上だけにとどまらず、地

域との連携、異校種との連携・交流、さらに、教育相談体制の強化など積極的に改善に努めてきました。顕著な成果は未だ現れていませんが、少しずつ歩みを進めています。

そこで今年度は、これまでの取り組みに加え、以下の取り組みを行っていきます。

### ○外部団体との連携によるSSTカリキュラムの提案

NPO法人よつ葉福祉会との連携によって、SST（ソーシャルスキルトレーニング）の授業を各学年4時間程度実施する予定です。この事業には、紀の川市の補助金が充てられており、来年度1月頃に研究発表会を行う計画となっています。

### ○地域住民とともに創るふるさと学習

本校では、紀の川市教育委員会の方針に従い、ふるさと学習の推進を行っています。本年度は、その取り組みを一歩進めて、地域住民と協働してふるさと学習の授業を創り上げていこうと考えています。

### ○授業改善に向けた取り組みの推進

社会や国際情勢の変化に伴い、求められる学力も変化してきており、これまでの一斉授業から対話や協働作業の中から生み出される学びが求められるようになってきました。そこで、今年度は、和歌山県教育委員会の指導・助言のもと、より良い授業を目指して授業改善に取り組んでいきたいと考えています。また、学力分析についてもその視点や方法について、教員自身が学んでいくこととしました。

## 今年も専門的な職員が配置されました

今年も本校に、以下の専門的な知識・技能を持った職員が配置されました。皆さんの悩みや困り事があれば気軽に相談に乗ってくれます。

- ・ SSC（スクールカウンセラー）：年間36日
- ・ SSW（スクールソーシャルワーカー）：年間42日

- ・ 訪問支援員：週2日（年間84日）
- ・ 学校支援サポーター（県警本部より）：週2日